

時間割コード: 2003030					日本語シラバス		
労働経済学[Labor Economics]							
■ ■ 担当教員							
張 俊超[ZHANG JUNCHAO]							
■ ■ 開講学部等	経済学部	■ ■ 対象年次	3～4	■ ■ 単位数	4	■ ■ 使用言語	
■ ■ 開講時期	春学期		■ ■ 開講曜限			■ ■ クラス	
■ ■ 特記事項							
■ ■ ナンバリングコード							

授業の目的

労働経済学の理論と応用を学ぶ。理論部分はミクロ経済学の応用であり、労働需要、労働供給、人的資本などのモデルで観察された現象を説明できることを目標とする。応用部分はミクロ応用計量経済学における識別問題と識別戦略を中心に、統計的因果推論の基礎的な考え方を学ぶ。

授業計画

(項目説明) 授業全体のスケジュールを示しています。学修計画を立てる際の参考にしてください。

- ガイダンス（労働経済学とは）
- 数学的準備
- 労働供給（基礎編）
- 労働供給（基礎編）
- 労働供給（基礎編）
- 労働供給（発展編）
- 労働供給（発展編）
- 実証研究における因果的効果の識別
- 実証研究における因果的効果の識別
- 実証研究における因果的効果の識別
- その他の実証研究でよく使われる手法
- 労働需要（基礎編）
- 労働需要（基礎編）
- 労働需要（基礎編）
- 労働需要（基礎編）
- 労働需要（発展編）
- 労働需要（発展編）
- 労働市場の均衡
- 労働市場の均衡
- 補償賃金格差
- 補償賃金格差
- 人的資本投資
- 人的資本投資
- 人的資本投資
- 人的資本投資
- 人的資本投資
- 人的資本投資に関する研究の紹介
- 労働移動
- 労働移動
- 賃金プロファイル
- 賃金プロファイル
- 定期試験

授業時間外の学修内容

(項目説明) 授業全体を通して授業前に予習すべき内容、授業後に復習すべき内容を示しています。単位は、授業時間前後の予習復習を含めて認定されます。

上記の項目に関連する内容について予習復習を行う。また、定期的に出題される宿題を提出する。

履修目標

（項目説明）授業で扱う内容（授業のねらい）を示す目標です。より高度な内容は自主的な学修で身につけることを必要としています。

- 1.労働経済学の理論モデルでデータで観察された現象をわかりやすく説明できる。
- 2.観察された相関関係を批判的な視点で分析できる。
- 3.因果効果を分析するための統計的手法を身につける。
- 4.因果関係のメカニズムを労働経済学の理論で議論できる。

到達目標

（項目説明）授業を履修する人が最低限身につける内容を示す目標です。履修目標を達成するには、さらなる学修を必要としている段階です。

- 1.静学労働供給の知識を身につける。[a]
- 2.実証研究での「内生性」を理解する。[b]
- 3.人的資本の知識を身につける。[a]

成績評価の方法

（項目説明）成績評価の方法と評価の配分を示しています。

宿題を課し、その他に定期試験を行い、総合的に評価する。（宿題2割、定期試験8割）宿題を4回出す予定。

成績評価の基準 -ループリック-

（項目説明）授業別ループリックでは評価の項目と、成績評価の基準との関係性を確認できます。（表示されない場合もあります。）

【成績評価の基準表】

秀(S)	優(A)	良(B)	可(C)	不可(F)
履修目標を越えたレベルを達成している	履修目標を達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成できていない

履修目標：授業で扱う内容（授業のねらい）を示す目標

到達目標：授業において最低限学生が身につける内容を示す目標

【授業別ループリック】

授業の方法

（項目説明）教員が授業をどのように進めるのか、課題提出などの情報もあわせて示しています。

毎回資料を配布し、その内容に沿って講義を進めていく。講義期間中に4回課題を出す予定。教科書を毎回持参すること。

教科書

教科書1	ISBN	9784535555662				
	書名	労働経済学				
	著者名	大森義明 著,	出版社	日本評論社	出版年	2008

教科書補足

-

参考書

参考書1	ISBN	9780071326209				
	書名	Labor Economics				
	著者名	George J. Borjas	出版社	McGraw Hill Higher Education; 6th International版	出版年	2012

参考書2	ISBN	9781111534394				
	書名	Introductory Econometrics : A Modern Approach				
	著者名		出版社		出版年	2013

		Jeffrey M. Wooldridge		センゲージ・ラーニング; 5th International 版		
参考書3	ISBN	9784641150287				
	書名	計量経済学の第一歩				
	著者名	田中隆一著,	出版社	有斐閣	出版年	Dec-15

参考書補足

参考書1は、国際標準の労働経済学のテキストである。参考書2は、国際標準の計量経済学のテキストである。参考書3は、数学をほとんど用いずに計量経済学を紹介している。

履修条件および関連科目

（項目説明）この授業を履修するにあたってあらかじめ履修が必要な授業，並行して履修することによって学修効果を高める授業などを示しています。

ミクロ経済学・数理統計を履修済みであること。計量経済学についての知識があれば尚可。

キーワード

労働経済学(Labor Economics)、応用ミクロ計量経済学(Applied Microeconometrics)、実証分析(Empirical Analysis)

備考 1

労働経済学だけでなく、教育経済学(教育政策、家庭環境、学力など)、医療経済学(喫煙、肥満、健康保険など)などの実証研究に興味のある方に履修を進めたい。実証研究者希望の方に履修を強く進めたい。

備考 2

参照ホームページ

授業評価アンケート公開

教員からの一言

オフィスアワー

連絡先（教員室）

連絡先（電話番号）

連絡先（メールアドレス）

備考 3

ホームページ